

## JR グループ労組連絡会 第32回総会を開催



8月26日(月)京都市内において「JRグループ労組連絡会・第32回総会」が開催され貨物連合より3名が出席しました。なお、台風10号の影響を考慮し短縮日程での開催となりました。

挨拶にたった奥村代表幹事(JR東海連合選出・東海交通事業労組)は「2024春闘は統一ベアを掲げてONETEAMとなって臨んだ。その結果、JR連合グループ労組連絡会の要求書提出を確認した全82単組が労使交渉をし、そのうち77単組がベースアップを獲得した。社会は変化し続けており、我々も立ち止まる事なく変化に対応していくことが大切であり、2025春闘では更なる改善を図っていくことが重要である」と述べられました。

続いてJR連合荻山会長、JR西労組の上村委員長より来賓挨拶があり「社会情勢を含めながら、政策・組織課題、政治問題について述べられ、安全問題ではNESCO労組で発生した痛ましい感電労災について中身を説明し、グループ労組が一体となり安全の確立をしていくことが大切」と強く訴えました」

続いて、JR連合住吉局長より、活動計画及び来期の活動方針の説明があり分科会討議に移りました。貨物連合は陸運分科会に入り、労働者の安全確保・JR九州バスの春闘交渉・ドライバーの高齢化等について意見交換しました。

全ての議事を終え、スローガン(案)と活動方針(案)が賛成多数により可決され、最後に奥村代表幹事により団結頑張ろうにより会を終え、本日より、2024年度活動方針「JR連合への総結集と労使の信頼関係構築に全力をあげ、安全・安心で将来に希望が持てるJRグループを創造しよう!」がスタートしました。